

オープンイノベーション IoT活用による人材不足、生産性向上の課題解決

～第2回 2020年羽田空港跡地開発に向けた新たな取組～

羽田空港跡地では、世界と地域をつなぐ「新産業創造・発信拠点～HANEDAゲートウェイ～」の開発が進められており、1年後に開業予定です。その開業に先立ち、オープンイノベーションのネットワーク形成に向けたイベントを開催します。

今回は、多くの企業が抱える人材不足という課題に対し、IoTを活用して生産性向上に取り組んでいるベンチャー企業にその事例を発表頂きます。登壇企業との名刺交換会に加え、施設内のコワーキングスペースでの交流の機会も設けておりますので、是非、ご参加ください。

開会	開会挨拶（受付開始 13:00～）		
13:30	公益財団法人大田区産業振興協会 関東経済産業局 地域経済部	理事長 幸田 昭一 部長 北廣 雅之	
第1部	基調講演① 羽田空港跡地計画 羽田の魅力		
13:35	大田区 産業経済部産業交流担当課長	臼井 正一	
第2部	基調講演② IT補助金活用事例・関東経済産業局のOI取組		
14:05	関東経済産業局 産業部 流通・サービス産業課 地域経済部 産業技術革新課	係長 植松 愛美 係長 渡邊 亨	
14:35	＜休憩＞		
第3部	ベンチャー企業によるIoT事例紹介		
14:45 ～ 16:45	登壇企業による事例発表(各社15分) 株式会社i-plug、フリックケア株式会社、株式会社NVT、ものレボ株式会社、 株式会社スタディスト、株式会社リスタ・プロダクツ、株式会社チームスピリット、 株式会社リバナス <small>※各登壇企業及び事例概要については別紙をご参照ください。</small>		
閉会	中締め挨拶		
16:45	株式会社三井住友銀行	専務執行役員 河原田 岩夫	
イベント	名刺交換会		
16:50	各登壇企業との名刺交換会(20分)		
交流	13:00～17:00 各登壇企業との交流・商談 会場2階のコワーキングスペース「Biz Beach」に展示ブースがございます。		

開催日	2019年 7月5日(金)
場所	大田区産業プラザPiO 2階 東京都研修室 〒144-0035 東京都大田区南蒲田1-20-20 交通機関 ●京急蒲田駅(東口) 徒歩5分 ●JR蒲田駅(東口) 徒歩15分
時間	13:30～17:10 (13:00 受付開始)
参加費	無料



主催：関東経済産業局、公益財団法人大田区産業振興協会
共催：株式会社三井住友銀行、城南信用金庫、さわやか信用金庫、川崎信用金庫
後援：大田区、川崎市

第3部 ベンチャー企業によるIoT事例紹介

登壇企業一覧

1) 株式会社i-plug <http://i-plug.co.jp>

事例紹介テーマ：ダイレクトリクルーティングサービスによる次世代を担う若い人材の採用

学生と会うまでの労力を限りなく少なくしつつ、採用したいタイプの学生に出会える可能性が高まるAIを搭載した検索システム。ナビサイトへのエントリーが少なく、採用の競争率が高い層にも直接オファーを送れるので、新しい出会いが可能。

事業概要 ダイレクトリクルーティングサービス【offer box】を運営。企業側から学生へ直接オファーを送ることができる新卒採用に特化したサイトです。特徴として、企業の会いたい学生へのアプローチ負担を軽減できる、AIを搭載した検索システムを採用。自社で活躍できる人材を分析、ビッグデータを有効活用し、「会いたい学生」を検索画面に表示できます。

2) フリックケア株式会社 <http://flickcare.com>

事例紹介テーマ：過去トラと事業継承に役立つ製造現場の省力化サービス

金型のメンテ記録、設備の保全記録、検査記録の手書きなどをスマートフォンを利用し、写真や音声入力などにより電子化。現在利用している帳票への出力や、基幹システムへの入力なども簡単に、担当者に負担感なく導入できます。

事業概要 フリックケアは金型、金属プレス関係を中心とした中小製造業の省力化サービスを提供します。

3) 株式会社NVT <https://nvtnet.co.jp>

事例紹介テーマ：製造業向けSNS型見積りネットワーク「TerminalQ」のご紹介

導入企業からは「今まで営業個人が行っていた見積り作業がチームで行えるようになりスピードと正確性が格段に向上した」「TerminalQの中で新規顧客や新たなサプライヤーが見つかった」など多くの実績を上げております。

事業概要 製造業の煩雑な見積り業務を標準化し、誰でも簡単に手間をかけず、正確な見積り業務が行えるインターネット上のプラットフォームであり、事業承継・地方創生・働き方改革など多くの課題を抱える中小製企業に対し、有効的なツールです。TerminalQユーザーが見積り作業の中で入力した製造方法や外注先などのデータをビッグデータ化し、製造業界の暗黙知とされている「製造工程の算出」や「外注加工先選定」などをAIが行うシステムを開発しています。また、「BtoB向けのプラットフォームの拡散が製造業の暗黙知をビッグデータ化し、日本のAI産業の礎となると考えています。

4) ものレボ株式会社 <https://www.mono-revo.co.jp/>

事例紹介テーマ：サブスクリプション型“SaaS x IoT”生産管理サービス

ユーザー効果事例 > 生産現場4名の小規模部品加工工場
・納期確認モレ防止による納期遅延撲滅および管理の一部自動化による工数▲490時間/年
オープンイノベーション事例 > 大手ITベンダー
・当社サービスを特定の業界向けに特化したサービスの共同開発および販売

事業概要 ものづくりは少量多品種(小ロット)生産の時代に向かっています。これら小ロット品の調達において、調達先の中小工場の短納期対応が課題になっています。そこで当社はトヨタ式の考え方を小ロット生産管理に応用した生産管理サービスを“SaaS x IoT”で展開し、IT導入に対する投資や運用に不慣れな中小工場でも簡単にITを使い、納期管理が出来るよう支援します。そして将来的にはSaaSで集約した工場の生産データを活用、サプライチェーンの最適化プラットフォームを実現します。

5) 株式会社スタディスト <https://biz.teachme.jp/>

事例紹介テーマ：ビジュアルSOP(標準作業手順書)による技術伝承と人手不足対策

導入実績は2,500社を超えています。製造業においては、工場設備や機器の操作手順、品質管理手順を共有することで、複数の遠隔拠点をまたいで情報共有できます。

事業概要 人手不足や外国人材の積極採用を背景に、人材育成とオペレーションの安定化に関する課題が顕在化しています。特に、製造業では技術伝承や作業品質向上のために「手順書」を作成していますが、未だアナログな場合も多いです。Teachme Bizは、スマホやタブレットを用いて、写真や動画をもちいたビジュアルベースのSOP(標準作業手順書)を作成、共有できるプラットフォームです。

第3部 ベンチャー企業によるIoT事例紹介

登壇企業一覧

6) 株式会社リスタ・プロダクツ www.lista.cloud

事例紹介テーマ：クラウドによる情報共有で得られるローコストオペレーションの事例

「それもう少し早く言ってくれれば」とか「そんな話聞いてません！」とかいう声が聞こえてきたことは無いでしょうか？
情報共有を円滑にすることで、仕事を効率よく進めることができ、生産性は高まります。
また社員の定着率を上げることもできます。
その事例を、利用者の声を元にご紹介させていただきます。

事業概要

創業から50年以上、自動車業界の品質を支える精密金属加工メーカーのダイヤ精機と生産管理システム「TECHS」シリーズを通して25年間にわたり、中小製造業様の現場に寄り添ってきたテクノアの2社が共同で、中手企業の現場のIT化や効率化を推進するコミュニケーションツールを開発しました。中小製造業様に特化することで、社内にITに詳しい人材がいない企業でも導入しやすいツールになっています。

7) 株式会社チームスピリット <https://www.teamspirit.com/ja-jp/>

事例紹介テーマ：働き方の見える化による生産性の向上

「TeamSpirit」は取得したデータをリアルタイムに可視化するダッシュボードを搭載していることにより、「勤怠管理・就業管理」の領域においては単なる出退社の記録だけでなく、36協定に関わる残業時間の推移や休暇の取得状況を把握することができ、近年特にニーズの高い長時間労働の抑制や休暇の管理を実現します。「工数管理・SNS」の領域では、リアルタイムに組織や社員の働き方を可視化し、トップフォーマーの時間や経費の使い方を分析することで、PDCAサイクルを回すことができ、真の働き方改革を実現します。

事業概要

チームスピリットは従業員が日々利用するシステム(勤怠管理、就業管理、工数管理、経費精算、電子稟議、カレンダー、社内SNS)を一体化したクラウドサービス「TeamSpirit」を提供する会社です。働く人の活動に関する膨大な基礎データをもとに、働く人の創造的な時間と自主性を高める環境づくりをサポートします。

8) 株式会社リバネス <https://lne.st/>

事例紹介テーマ：コミュニケーターが町工場とベンチャーで挑戦している試み

ベンチャーの新しく「もの」を試作したいという希望に対し、弊社がネットワークを持っている町工場と連携し試作ができるようにしています。そこで、課題となるのがコミュニケーションです。私たちはITツールを活用しながら、ベンチャー企業と町工場をつなぎ共に新しい価値あるものを生み出そうと試行錯誤しています。今回はその一例を紹介します。

事業概要

リバネスは、研究者が集まり、科学技術を用いて社会の課題解決に取り組んでいる創業17年の会社です。教育、人材、研究、創業をテーマに多くの大学企業と連携して事業を行なっています。2014年よりTECH PLANTERというテクノロジーベンチャー(IT以外)の育成プロジェクトを始め、年間200社以上のベンチャー企業とコミュニケーションを取っています。新しい価値があるものを生み出すお手伝いをする企業です。

Memo

--	--